

2021 眼科 試験問題 再現

2021. 5. 21 実施

【作成者から注】試験問題が回収されるため、この再現は完全なものとは言えません。中には、作成者が作った選択肢であったり、正答の個数が間違ったりしているかもしれませんがご了承ください。

1. 誤っているのはどれか (2つ)

- a. 水晶体は表面外胚葉由来である。
- b. 虹彩実質は、中胚葉起源である。
- c. 視細胞は、眼杯の外板から発生する。
- d. 眼球の原基ができるのは、胎生3週である。
- e. 眼胞が陥凹して眼杯ができるのは、胎生6週である。

2. 1つの眼球に集まる視神経線維の本数として正しいのはどれか

- a. 30万本
- b. 60万本
- c. 100万本
- d. 200万本
- e. 500万本

3. 細隙灯顕微鏡（前置レンズおよびゴニオミラーレンズは使用しない）で観察できる部位はどれか (2つ)

- a. 角膜
- b. 隅角
- c. 水晶体
- d. 網膜
- e. 視神経乳頭

4. アデノウイルス角結膜炎について正しいのはどれか (2つ)

- a. 小児では耳前リンパ節での腫脹を認める
- b. 小児では偽膜がみられる
- c. 抗ウイルス薬の内服
- d. 潜伏期は3日である
- e. 手洗いの励行がすすめられる

5. 角膜について誤っている組み合わせはどれか (2つ)
- a. 組織 — 5層
 - b. 屈折力 — +20D
 - c. 屈折率 — 1.376
 - d. 曲率半径 — 9.0mm
 - e. 角膜中央部の厚さ — 0.5mm
6. 緑内障の特徴的な視野障害の形状として誤っているものはどれか
- a. 弓状暗点
 - b. 鼻側階段
 - c. 切痕状視野欠損
 - d. 耳側島状視野
 - e. 中心暗点
7. 正常眼圧緑内障として誤っているものはどれか
- a. 眼圧が 22mmHg
 - b. 緑内障性乳頭陥凹を認める
 - c. 緑内障性の視野障害を認める
 - d. 開放隅角である
 - e. 神経線維層欠損を認める
8. 急性緑内障発作の自覚症状として誤っているものはどれか
- a. 眼痛
 - b. 頭痛
 - c. 悪心、嘔吐
 - d. 虹輪視
 - e. 複視
9. 続発性閉塞隅角緑内障の原因として誤っているものはどれか
- a. 水晶体偽落屑
 - b. 眼内腫瘍
 - c. 虹彩・角膜内皮症候群
 - d. 隅角血管新生
 - e. ぶどう膜炎

10. 網膜電図について誤っているのはどれか (2つ)

- a. a 波は視細胞に由来する
- b. b 波は網膜色素上皮に由来する
- c. 眼底透見不能な白内障手術の術前検査に有用である
- d. 網膜の活動電位を記録したものである
- e. 眼球の静止電位は網膜への光刺激を絶った時には変動しない

11. 正しいのはどれか (2つ)

- a. 原田病では、内耳性難聴がみられる
- b. サルコイドーシスでは、夕焼け状眼底がみられる。
- c. 肉芽腫性ぶどう膜炎では、豚脂様角質後面沈着物を認める。
- d. ベーチェット病では、前房蓄膿がみられる。
- e. ベーチェット病で眼症状を発症するのは、女性に多い。

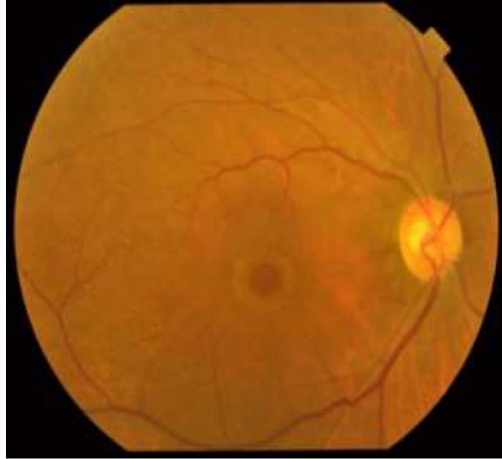
12. 糖尿病網膜症について正しいのはどれか

- a. 初期からかすみ・暗いといった自覚症状が出現する。
- b. 中高年 (40~60 歳) の失明の原因として最も多い。
- c. 軟性白斑は、単純糖尿病網膜症でみられる。
- d. レーザー光凝固は、虚血網膜部位に行う。
- e. 血管新生は、増殖前糖尿病網膜症でみられる。

13. 加齢黄斑変性について誤っているのはどれか

- a. 喫煙が関与している
- b. 病初期から視野中心が見づらくなる
- c. 治療は硝子体手術が多い
- d. 萎縮型の治療には、サプリメントも用いられる
- e. 滲出型に対し抗 VEGF 抗体注射が行われることもある

14. 62 歳女性。3 日前に片眼ずつ見たら右目がみえなくなっていることに気づき眼科に受診した。字を読もうとしても中心がみえず、視力は 0.1 (n.c.) だった。眼底写真を示す。診断はどれか。



- a. 加齢黄斑変性
 - b. 黄斑上膜
 - c. 中心性漿液性網脈絡膜症
 - d. 黄斑円孔
 - e. 網膜静脈分枝閉塞症
15. 網膜色素変性について正しいのはどれか (3 つ)
- a. 片眼性
 - b. 急激に進行する
 - c. 孤発例がみられる
 - d. 遺伝子変異による
 - e. 聴覚障害を合併したものに Usher syndrome がある
16. 両耳側半盲をきたすものはどれか (2 つ)
- a. 視神経鞘腫
 - b. 下垂体腺腫
 - c. 視神経脊髄炎
 - d. くも膜下出血
 - e. 頭蓋咽頭腫

17. 多発性硬化症について正しいのはどれか（2つ）
- a. 盲点中心暗点を示す
 - b. 両眼同時に発症する
 - c. 網膜電図が診断に有用である
 - d. 高齢での発症が多い
 - e. 中枢神経の白質が障害される
18. 水晶体について正しいのはどれか
- a. 直径 9mm の凸レンズで、後方より前方の方がより湾曲している
 - b. 幹細胞の役割をもつ水晶体上皮細胞は、前囊直下に配列している
 - c. 加齢により水晶体は薄くなる
 - d. 水晶体の調節力のピークは 20 代である
 - e. 水晶体は無神経・無血管・無リンパの組織である
19. 白内障の手術治療について正しいのはどれか
- a. 眼内レンズはポリメタクリル酸メチル樹脂（PMMA）のものが最も多い
 - b. 眼内レンズの寿命は約 20 年である
 - c. 前立腺肥大症治療薬（ α_1 受容体遮断薬）を服用している患者では IFIS（術中虹彩緊張低下症）に注意が必要である
 - d. 術後には高度近視になる
 - e. 白内障手術後の後発白内障では眼内レンズの交換が必要である。
20. ロービジョンケアについて正しいのはどれか
- a. 治療法がなくなってから開始する
 - b. 視力 0（光覚なし）ではケアできない
 - c. スマートホンは視覚障害者にとって有用である
 - d. 視力を改善する治療である
 - e. コンピュータは役に立たない

(個人的分析)

試験前に、「試験は昨年の AIMS で実施した確認テストと 75%同じ問題を出す」と告知がありました。結果、2020 年の問題 15 問はそのまま、5 問新問が出題されました。

授業に関して、レジュメが配られず授業がほとんどないので、何か他で勉強できる方法を考えておくといいと思います（眼科の教科書を図書館で借りる、CBT の動画講座をとるなど…）。テスト自体はそれほど難しくはないかもしれませんが、CBT のためにも勉強しておくことをお勧めします。

追試者 0 人（発表なし）